

# 健康生活支援課

# 健康生活支援課業務概要

健康生活支援課は、疾病関係として結核予防事業、感染症予防事業、エイズ予防対策事業、特定疾患対策事業、原爆被爆者対策事業、肝炎治療特別促進事業について医療、福祉等の関係機関と連携を図りながら業務を行っている。また、食品衛生関係では、流通食品の安全確保、飲食店等の衛生管理指導業務を、生活衛生業務では、理・美容所、旅館等の営業施設、水道、特定建築物、畜舎等の環境衛生、狂犬病予防・動物愛護管理業務など幅広い業務を所掌している。

## 1 健康危機管理事業

「千葉県健康危機管理基本方針」に基づき、感染症、食中毒、医薬品、飲料水、毒物劇物等により生じる、不特定又は多数の市民の生命、健康を脅かす事態に対し、市町村や医療機関等の関係機関と緊密な連携を図り、健康被害の発生予防、拡大防止、治療体制の確保、原因究明などの各種対策に取り組んでいる。

平成 21 年度に新型インフルエンザ A (H1N1) の発生と流行があり、感染症法に基づく調査および感染拡大防止対策を実施した。また、本年度は、中国におけるインフルエンザ A (H7N9) の患者発生があったが、国内発生には至らなかった。

平常時より地域の警察署、消防署、市町村、医師会、歯科医師会、薬剤師会等で構成された「健康危機管理推進会議」を設置し、連携強化のために年 1 回会議を開催している。

## 2 結核予防事業

結核の罹患率は、平成 24 年度 17.5 と上昇したが、今年度は 13.3 と年々減少傾向にあり、県平均より低い値となった。

登録数は 107 名、新登録患者数は 37 名で前年より 12 名減少している。新登録患者のうち活動性肺結核患者 33 名喀痰塗抹陽性患者は 20 名で 60.6%を占めている。

この様な状況から、当保健所では、接触者健診の徹底に努めている。

患者管理においては、保健師による D O T S を実施し、治療の促進、早期の社会復帰及び再発防止に努めた。

また、結核専門医療機関との D O T S 会議を 4 回開催し、患者の治療状況等について意見交換を行い、患者管理・患者支援の推進を図っている。

## 3 感染症予防事業

平成 25 年の 3 類感染症の発生は、細菌性赤痢患者 2 件及び腸管出血性大腸菌感染症患者 3 件があり防疫活動を実施した。

平成 19 年 12 月 28 日厚生労働省告示「麻しんに関する予防指針」により、麻しん対策が強化され、定期予防接種において平成 24 年度まで中学 1 年生（第 3 期）と高校 3 年生（第 4 期）に 2 回目の接種機会が設けられ今年度で終了した。

麻しんの発生状況を確実に把握するために、県では平成 23 年度から PCR による検査診断（衛生研究所）を導入し、より信頼性の高い発生報告を求めることとした。

麻しん対策としては、平成 20 年 4 月から学校における発生時の対応マニュアルである「いちほら麻しんゼロ作戦」を実施し、麻しん発生時に麻しん会議を開催してきたところ、今年度の発生はなかった。

## 4 エイズ予防対策事業

H I V 及び性感染症検査、またこれらに対する電話及び面接相談を実施した。検査の受検件数は、299 件であり、例年同じ程度の受検数があり、相談では、感染を心配した内容が多い傾向であった。

また、性感染症の啓発普及活動として管内高等学校（千葉県立市原緑高等学校）において講演会を開催すると共に J R 五井駅周辺で関連グッズを配布した。

## 5 特定疾患対策事業

管内の特定疾患治療研究費受給者数は 1,846 名で、医療及び療養生活について、窓口面  
接及び電話による相談並びに患者・家族のつどいを実施した。

また、支援の必要な在宅療養難病患者に対し、家庭訪問による指導を行った。

## 6 原爆被爆者対策事業

管内在住の原爆被爆者手帳の交付数は、170 件である。原爆被爆者手帳交付者に対して、  
保健所において年 2 回健康診断を実施し、延 26 名が受診し、医療機関で 28 名が受診した。

## 7 肝炎治療特別促進事業

B 型肝炎、C 型肝炎のインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療の医療費負担軽  
減のための助成を行い 108 名の申請を受け付けた。

## 8 食品衛生事業

管内の食品営業施設は、許可を要する施設が 4,456 件、許可を要しない施設が 2,265 件  
の計 6,721 件ある。これらの営業施設に対して、食品の安全性を確保し、食品による健康  
危害の発生防止を図るために、食品衛生法に基づく食品営業施設の監視指導を 4,897 件実  
施、食品等の収去検査を 79 検体実施した。

また、営業者及び集団給食従事者に食品衛生知識の普及、啓発をはかるため、衛生講習  
会を 22 回実施し、1,678 名が受講した。

夏期には、食中毒予防強調期間中の 8 月 1 日(木)に市原市・市原市食品衛生協会と協力  
し、食品営業者及び市民に対する食中毒予防啓発広報活動を管内一円で実施した。

食中毒は 2 件発生し、ノロウイルスによるものであった。

## 9 狂犬病予防・犬による危害防止事業及び動物愛護管理事業

狂犬病予防・犬による危害防止事業については、市原市及び獣医師会の協力のもと、犬  
の登録・狂犬病予注射の促進を図った。

また、犬による危害防止に係る苦情・相談の届出は 365 件あり、飼い主に適正飼養の指  
導・啓発を行うとともに、放し飼い犬を含む野犬の捕獲等を行い、危害防止に努めた。

動物愛護管理事業においては、動物愛護精神の普及・啓発を図るため、6 月の動物の正  
しい飼い方推進月間、11 月の動物による危害防止推進月間などを中心に、犬だけでなく、  
愛護動物全般における正しい飼い方・危害防止について広報活動を行った。

本事業に係る相談・苦情は 1,284 件あり、これを受け、指導・助言を行った。その中に  
は、事故等により負傷した動物の収容・保護や、飼えなくなった犬・ねこの引き取りが含  
まれ、負傷動物の収容数は 33 頭、引取り件数は 32 件(80 頭)であった。

さらに、動物取扱業・特定動物飼養施設について、立入検査を 60 件実施し、動物取扱業  
者については、動物取扱責任者研修を実施した。

## 10 環境衛生事業

環境衛生関係営業施設数は、917 件であり年々減少している。各営業施設に対し、自主管  
理の徹底を促すとともに計画的・効率的な立入検査を実施し、衛生水準の確保に努めた。

立入検査実施件数は 409 件。また、これらの営業施設で構成する市原市地区生活衛生同  
業組合連絡協議会の育成指導に努めた。

水道法の改正により、水道施設への指導業務は、今年度から市が実施することになった  
ので、当所で管轄する水道施設は、市営水道のみとなった。

特定建築物数は 64 件で、その内立入検査対象施設 53 件あり、全てに立入検査を実施した。

遊泳用プール施設 11 施設あり、全てに検査指導を行った。

温泉利用施設は 9 件あり、8 件に立入検査を実施した。

## 1 健康危機管理事業

### (1) 会議等

表1-(1) 会議開催状況

実施日 及び場所	会議名	内 容	対 象	参加人員
平成26年 1月23日 市原市 市民会館	市原地域 健康危機 管理推進 会議	新型インフルエンザ対応について 「新型インフルエンザ発生時の市原 地域の医療体制について」意見交換	市原市医師会、市原市歯科医師会、 市原市薬剤師会、中核病院、 千葉県看護協会市原地区部会 市原市、消防局、市原警察署、 市原健康福祉センター	21人

### (2) 研修会等

表1-(2) 健康危機管理研修会等実施状況

実施日	場 所	テ ー マ 講 師	対 象	参加人員
平成26年 1月23日	市原市 市民会館	「千葉県新型インフルエンザ等行動計画について」 講師：千葉県健康福祉部健康福祉政策課健康危機対策室 副主幹 遠藤 幸男	上記同様	21人

## 2 結核予防事業

### (1) 管内結核患者登録者数の動向

表2-(1) 登録者数の年次推移

(単位:人)

区分		年						
		平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成23年	平成24年	平成25年
管内人口		270,332	280,411	280,001	280,199	279,406	278,623	277,476
新登録患者総数		95	98	76	49	37	49	37
登録者総数		297	204	208	131	125	112	107
結核死亡者数	管内	2	5	6	3	2	1	1
	千葉県	83	109	52	49	67	51	85
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.73	1.8	2.1	1.07	0.7	0.36	0.4
	千葉県	1.7	2.2	1.0	0.94	1.28	1.0	1.4
罹患率 (人口10万対)	管内	35.1	31.7	27.1	17.5	13.2	17.5	13.3
	千葉県	27.4	25.6	22.9	17.7	16.3	14.0	14.9
有病率 (人口10万対)	管内	38.5	41.7	27.1	11.4	10.4	10.0	8.3
	千葉県	34.3	28.2	21.2	14.1	11.9	8.8	9.7

(注)①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。平成25年は速報値

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

### (2) 新登録患者数

表2-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活動性肺結核				活肺 外 動 結 核 性 核	罹患率 (10万対)	肺塗の割合 (%) 結核の陽性 のうち	(潜在性結核感染症) 無症状病原体保有者(別掲)	疑似症患者(別掲)	結核死亡者の死体(別掲)	結核死亡疑いの死体(別掲)
			計	喀痰 塗 抹 性	菌 の 他 陽 結 核 性	菌 の 陰 他 性							
平成23年		37	21	14	3	4	16	13.2	66.7	24	-	-	-
平成24年		49	40	21	2	17	9	17.5	52.5	22	-	-	-
平成25年		37	33	20	10	3	4	13.3	60.6	20	-	-	-

(3) 年末現在登録者数(活動性分類別)

表2-(3) 年末現在登録者数(活動性分類別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活動性肺結核			活肺 外結 動性 核	不 活 動 性 結 核	不 明	有 病 率 (人口10万対)	塗 抹 陽 性 患 者 の 占 め る 割 合 %	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (別 掲)	疑 似 症 患 者 (別 掲)	
			計	喀 痰 塗 抹 性	そ の 他 結 核 性								菌 陽 性 他
平成23年		125	15	10	2	3	14	50	46	10.4	8.0	36	-
平成24年		112	23	11	1	11	5	50	34	10.0	9.8	49	-
平成25年		107	23	2	1	20	0	56	28	8.3	1.8	63	-

(4) 新登録患者数(年齢階級別)

表2-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70
			4	9	14	19	29	39	49	59	69	歳 以上
平成23年		37	-	-	-	-	6	3	5	4	10	9
平成24年		49	-	-	-	1	2	4	3	9	10	20
平成25年		37	-	-	-	-	2	2	2	4	8	19

(5) 年末現在登録者数(年齢階級別)

表2-(5) 年末現在登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70
			4	9	14	19	29	39	49	59	69	歳 以上
平成23年		125	1	-	-	3	12	15	18	16	34	26
平成24年		112	-	1	-	2	8	12	15	18	20	36
平成25年		107	-	-	-	3	10	12	11	24	23	24

## (6) 管理検診実施状況

表2-(6)管理検診実施状況

(単位:人)

区分 年度	該当人員	受診者数	エックス線 検査数	喀痰検査数		健診結果			要医療率 (%)	受診率 (%)
				塗抹	培養	要医療	要観察	観察不要		
平成23年度	218	165	165	37	33	0	131	34	0	75.7
平成24年度	277	184	184	41	34	2	114	69	1.2	66.4
平成25年度	225	161	161	38	33	0	129	32	0	71.6
保健所		44	44	0	0	0	28	16		
委託分		71	71	38	38	0	59	12		
その他		46	46	0	0	0	42	4		

## (7) 結核接触者健康診断実施状況

## ア 家族健診実施状況

表2-(7)-ア家族健診実施状況

(単位:人)

区分 年度	対象者数	受診者数	ツ反検査数	QFT検査数	QFT検査数(再掲) ツ反かつ	エックス線 検査数	喀痰検査数		健診結果				要医療率 (%)	受診率 (%)
							塗抹	培養	要医療	要観察	潜在性結核 感染症	異常なし		
平成23年度	151	147	5	18	-	122	2	2	2	1	2	142	1.32	97.4
平成24年度	122	107	1	20	-	80	-	-	2	1	2	97	1.64	87.7
平成25年度	91	73	3	18	3	44	2	2	-	-	4	69	-	80.2
保健所		50	-	-	-	35	-	-	-	-	-	50	-	
委託分		9	3	3	3	9	2	2	-	-	4	5	-	
その他		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	

イ 接触者健診実施状況

表2-(7)-イ接触者健診実施状況

(単位:人)

区分 年度	該当人員	受診者数	ツ反検査数	QFT検査数	ツ反かつ QFT検査数 (再掲)	エックス線件数	喀痰検査数		健診結果				要医療率(%)	受診率(%)
							塗抹	培養	要医療	要観察	潜在性結核感染症	異常なし		
平成23年度	630	598	7	203	-	385	3	3	1	11	12	574	0.16	94.9
平成24年度	694	581	11	253	-	290	-	-	-	8	18	540	-	83.7
平成25年度	554	489	3	173	-	222	11	11	1	4	10	457	0.18	88.3
保健所		314	-	173	-	141	-	-	-	-	10	290	-	
委託分		84	3	-	-	81	11	11	1	4	-	76	1.1	
その他		91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91	-	



## (8) 結核医療費公費負担診査状況

表2-(8)-ア 結核医療費公費負担診査状況(37条の1)

(単位:件)

区分 年度	総 数			被用者保険						国民健康保険			老人保健法			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族														
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成 23 年度	46	46	-	-	-	-	-	-	-	22	22	-	5	5	-	14	14	-	2	2	-
平成 24 年度	52	52	-	6	6	-	-	-	-	14	14	-	17	17	-	10	10	-	5	5	-
平成 25 年度	52	52	-	-	-	-	1	1	-	20	20	-	10	10	-	14	14	-	7	7	-

表2-(8)-イ 結核医療費公費負担診査状況(37条の2)

(単位:件)

区分 年度	総 数			被用者保険						国民健康保険			老人保健法			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族														
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成 23 年度	95	95	-	22	22	-	4	4	-	43	43	-	10	10	-	14	14	-	2	2	-
平成 24 年度	99	99	-	27	27	-	2	2	-	38	38	-	21	21	-	10	10	-	1	1	-
平成 25 年度	85	85	-	26	26	-	3	3	-	21	21	-	17	17	-	16	16	-	2	2	-

(9) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表2-(9)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分	総数
年度	
平成25年度	23

表2-(9)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分	入院勧告数 (応急入院)	入院延長通知数 (初回/延長)
年度		
平成25年度	23	23/29

表2-(9)-ウ 入院措置数 (単位:件)

区分	入院措置数
年度	
平成25年度	0

(10) ツベルクリン反応検査・QFT検査実施状況

表2-(10)-ア ツベルクリン反応検査実施状況 (単位:人)

年度	ツ反検査数			発赤径			被検者の年齢			
	保健所	委託分	その他	陰性	30mm未満	30mm以上	0~5歳	6~29歳	30~49歳	50以上歳
平成25年度	0	4	-	1	2	1	4	-	-	-

表2-(10)-イ QFT検査実施状況

年度	QFT検査数	結果			
		陽性	判定保留	陰性	判定不可
平成25年度	172	8	11	151	2

(11) エックス線検査実施状況

表2-(11) エックス線検査実施状況 (単位:人)

年度	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成23年度	371	159	320	90	51	69
平成24年度	351	182	289	81	62	101
平成25年度	224	161	180	90	44	71

(12) 定期結核健康診断予防接種実施状況

表2-(12) 定期結核健康診断予防接種実施状況

(単位:人)

項目 年度区分		対象者数	受診者数	受診率%	B C G 接種者数	報告数 コソホ現象	間接撮影者数	直接撮影者数	喀痰検査者数	発見患者数	発病の恐れがある者
平成23年度		73,925	21,150	28.6	2,043	-	14,108	4,999	14	0	0
平成24年度		72,115	15,191	21.1	1,923	-	9,789	5,296	0	0	0
平成25年度		79,424	20,520	25.8	1,716	-	12,423	8,097	13	1	0
内 訳	高等学校以上	2,759	2,755	99.9	-	-	2,708	47	0	0	0
	施設	1,161	1,119	96.4	-	-	566	553	10	1	0
	市町村	66,416	7,875	11.9	1,716	-	6,197	1,678	0	0	0
	事業所	9,088	8,771	96.5	-	-	2,952	5,819	3	0	2

(注)教職員及び県職員については事業所として計上する。

3 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表3-(1) 1類感染症発生状況

年	疾患名	人数	市
平成25年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表3-(2) 2類感染症発生状況

(単位:人)

年	疾患名	人数	市
平成25年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表3-(3) 3類感染症発生状況

(単位:人)

年	病 類	総 数	病 類				
			コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
平成23年		10	-	2	8	-	-
平成24年		3	-	-	3	-	-
平成25年		5	-	2	3	-	-

(4) 1類感染症及び2類感染症並びに3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

表3-(4)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位:調査(人)、検査(件))

年 度	病 類	疾 患 名	調 査	検 査 (依 頼)

表3-(4)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査実施状況 (結核は除く)

(単位:調査(人)、検便(件))

年 度	病 類	疾 患 名	調 査	検 査 (依 頼)

(注) SARSについては、「疑似症状患者」及び「疑い例」を含む。

表3-(4)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位:調査(人)、検便(件))

年 度	病 類	総 数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
		調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
		平成23年度	66	47	-	-	9	4	57	43	-	-	-	
平成24年度	9	6	-	-	-	-	9	6	-	-	-	-	0	
平成25年度	18	18	-	-	8	8	10	10	-	-	-	-	1	

## (5) 4類感染症発生状況

## ア 全数把握対象感染症

表3-(5)-ア 4類感染症病発生状況

(単位：人)

疾患名		平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
1	E型肝炎	-	-	-
2	A型肝炎	-	-	-
3	黄熱	-	-	-
4	Q熱	-	-	-
5	狂犬病	-	-	-
6	炭疽	-	-	-
7	鳥インフルエンザ	-	-	-
8	ボツリヌス症	-	-	-
9	マラリア	-	-	-
10	野兔病	-	-	-
11	ウエストナイル熱	-	-	-
12	エキノコックス症	-	-	-
13	オウム病	-	-	-
14	オムスク出血熱	-	-	-
15	回帰熱	-	-	-
16	キャサヌル森林病	-	-	-
17	コクシジオイデス症	-	-	-
18	サル痘	-	-	-
19	腎症候性出血熱	-	-	-
20	西部ウマ脳炎	-	-	-
21	ダニ媒介脳炎	-	-	-
22	つつが虫病	-	-	-
23	デング熱	-	-	-
24	東部ウマ脳炎	-	-	-
25	ニパウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	-
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	Bウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんチフス	-	-	-
35	ライム病	-	-	-
36	リッサウイルス感染症	-	-	-
37	リフトバレー熱	-	-	-
38	類鼻疽	-	-	-
39	レジオネラ症	1	1	1
40	レプトスピラ症	-	-	-
41	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
42	重症熱性血小板減少症候群	-	-	-
43	チクングニア熱	-	-	-

(6) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表3-(6)-ア 5類感染症発生状況

(単位:人)

疾患名		平成23年	平成24年	平成25年
1	アメーバ赤痢	1	1	2
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	-	-	-
3	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎、リフトバレー熱を除く)	1	-	2
4	クリプトスポリジウム症	-	-	-
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	-	-
6	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	-
7	後天性免疫不全症候群	3	1	4
8	ジアルジア症	1	-	-
9	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
10	先天性風しん症候群	-	-	-
11	梅毒	3	-	4
12	破傷風	-	-	-
13	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
14	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
15	風しん	-	-	15
16	麻しん(成人麻しんを含む)	1	1	1
17	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	1
18	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
19	侵襲性肺炎球菌感染症	-	-	3

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

1) 患者定点

表3-(6)-イ-1)-(ア) 患者定点医療機関数

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹
11	7	2	2	1

表3 - (6) -イ-1) - (イ) 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

	疾 患 名	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	3,997	5,118	2,891
2	性器クラミジア感染症	-	-	11
3	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	8
4	RSウイルス感染症	111	37	49
5	咽頭結膜熱	49	69	64
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	663	539	1,082
7	感染性胃腸炎	3,661	2,565	2,761
8	急性出血性結膜炎	-	2	1
9	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
10	細菌性髄膜炎	6	7	6
11	水痘	594	285	243
12	性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	5
13	尖圭コンジローマ	-	-	1
14	手足口病	471	134	513
15	伝染性紅斑	418	36	25
16	突発性発しん	196	118	146
17	百日咳	118	56	39
18	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-
19	ヘルパンギーナ	561	194	168
20	マイコプラズマ肺炎	30	49	5
21	無菌性髄膜炎	13	9	7
22	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-
23	流行性角結膜炎	70	70	125
24	流行性耳下腺炎	313	116	205
25	淋菌感染症	-	-	3
26	ペニシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
27	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

2) 病原体定点

表3-(6)-イ-2) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区分	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
医療機関数	2	-	-	1
検体提供数	13	-	-	5

(7) 4類感染症及び5類感染症発生に伴う健康調査実施状況

表3-(7)-ア 4類感染症健康調査実施状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成25年度	ツツガムシ症	1
	レジオネラ症	1

表3-(7)-イ 5類感染症健康調査実施状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成25年度	感染性胃腸炎 5か所	788
	風しん 1か所	190

(8) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査状況及び検便実施状況

表3-(8) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査人、検便件)

区分 年度	総 数	管外発生(検疫 通 報 除 く) の 伴 う 感 染 症 調 査 数	自 調 査 申 告 に よ る	検 接 調 査 通 者 数 及 び 同 行 者	検 便 実 施 者 数	検 出 菌			
						コ レ ラ	赤 痢	〇 1 5 7	そ の 他
平成23年度	3	3	-	-	-	-	-	-	-
平成24年度	3	3	-	-	-	-	-	-	-
平成25年度	1	1	-	-	1	-	-	1	-



(9) 感染症関係予防啓発活動実施状況

保育所・幼稚園、社会福祉施設等の感染症予防対策の充実を図るため、保育所・幼稚園、社会福祉施設等の職員を対象に研修会を実施した。

表3-(10) 感染症研修会実施状況

実施日	場 所	活 動 内 容	テ ー マ 講 師	対 象	参加 人員
平成 25 年 9 月 17 日	市原市 五井公民館	講演	「学校等における感染性胃腸炎の 発生状況」 健康生活支援課職員	管内保育所・幼稚園 等職員	48 人
平成 25 年 10 月 22 日	市原市市民会館	講演	「社会福祉施設等における感染症 対策について」 千葉大学医学部附属病院感染症管 理治療部医師・健康生活支援課職員	管内社会福祉施設 等職員	54 人
平成 25 年 12 月 3 日	市原市内社会福 祉施設	講演	「感染症予防対策に必要な知識及 び手技について」 健康生活支援課職員	社会福祉施設職員	62 人

(10) その他

表3-(11) インフルエンザ様疾患届出状況\* (単位：件)

区 分	届出施 設数	届出患者 数	措 置			
			学級閉鎖 数	学年閉鎖 数	休 校	その他
平成 23 年度	72	1,529	131	36	-	-
平成 24 年度	52	493	44	9	-	-
平成 25 年度	87	961	87	24	-	-
保 育 所	13	91	16	1	-	-
幼 稚 園	3	25	3	1	-	-
小 学 校	61	678	58	20	-	-
中 学 校	10	167	10	2	-	-
高 等 学 校	-	-	-	-	-	-

4 エイズ予防事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表4-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況 (単位：人)

実施日	場 所	活 動 内 容	テ ー マ	対 象	参 加 員 人
平成 26 年 2 月 24 日	千葉県立市原緑 高等学校	講演会	「若者の性感染症・エイズを 予防し、望まない妊娠を避ける ために」	学生	251 人

イ 街頭キャンペーン等開催状況

表4-(1)-イ 街頭キャンペーン等開催状況

月 日	主 な 内 容
平成 25 年 11 月 28 日	J R 五井駅周辺にてエイズ予防啓発グッズを配布 (200 部) 幟旗の掲示 ストップエイズジャンパー着用

## (2) エイズ相談受付状況

表4-(2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度 年齢階級		性別	相談方法	男	女	小計	合計
平成 23 年度		電話相談	9	5	14		
		来所相談	186(40)	114(25)	300(65)	314	
		その他	-	-	-		
平成 24 年度		電話相談	2	3	5		
		来所相談	192(34)	111(18)	303(52)	308	
		その他	-	-	-		
平成 25 年度		電話相談	0	1	1		
		来所相談	182(30)	108(22)	290(52)	291	
		その他	-	-	-		
年 階 級	～19 歳	電話相談	0	0	0		
		来所相談	5	11	16	16	
		その他	-	-	-		
	20 歳～29 歳	電話相談	0	0	0		
		来所相談	62	61	123	123	
		その他	-	-	-		
	30 歳～39 歳	電話相談	0	0	0		
		来所相談	53	21	74	74	
その他		-	-	-			
40 歳～49 歳	電話相談	0	0	0			
	来所相談	34	10	44	44		
	その他	-	-	-			
50 歳～59 歳	電話相談	0	0	0			
	来所相談	17	3	20	20		
	その他	-	-	-			
60 歳～69 歳	電話相談	0	0	0			
	来所相談	11	2	13	13		
	その他	-	-	-			
70 歳～	電話相談	0	0	0			
	来所相談	0	0	0	0		
	その他	-	-	-			
不 明	電話相談	0	0	1			
	来所相談	0	0	0	1		
	その他	-	-	-			

\*( )内は、夜間相談実施件数

(3) HIV抗体検査等性感染症検査

表4-(3)-ア HIV抗体検査等性感染症検査実施状況

(単位:件)

年度	HIV抗体検査			クラミジア抗体検査			梅毒血清検査		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成 23 年度	191	112	303	158	84	242	160	85	245
平成 24 年度	190	109	299	160	102	262	164	102	266
平成 25 年度	182	108	290	162	95	257	163	98	261

表4-(3)-イ 肝炎検査実施状況

年度	B型肝炎抗原検査				C型肝炎抗体検査			
	男	女	計	陽性数	男	女	計	陽性数
平成 23 年度	158	87	245	1	160	87	247	5
平成 24 年度	164	111	275	2	161	110	271	2
平成 25 年度	166	98	264	1	165	99	264	4

(4) エイズ相談内容の状況

表4-(4) エイズ相談内容の状況

相談者の区分	男性	女性	合計
同性間性行为による感染を心配する者	5	1	6
異性間性行为による感染を心配する者	148	82	230
その他の性行为による感染を心配する者	9	1	10
輸血による感染を心配する者	5	1	6
家族、友人の感染を心配する者	12	9	21
母子感染を心配する者	2	3	5
医療機関内感染を心配する者	12	11	23
日常生活での感染を心配する者	15	15	30
一般的なエイズに関する知識、情報を求める者	17	11	28
その他	6	6	12
合計	231	136	371
相談者のうち外国人の人数	0	0	0

相談内容	男性	女性	合計
エイズウイルス・疫学に関すること	14	3	17
患者・感染者の発生状況に関すること	11	2	13
症状・発生機序に関すること	14	9	23
検査に関すること	47	27	74
診断(方法)・治療に関すること	9	8	17
感染経路に関すること	8	6	14
社会の差別や偏見に関すること	2	0	2
行政のエイズ対策に関すること	1	1	2
エイズ予防法に関すること	1	0	1
その他	0	0	0
合計	107	56	163

## 5 特定疾患対策事業

### (1) 特定疾患治療研究費受給者状況

表5- (1) 特定疾患治療研究費受給者状況

(単位:人)

対象疾患名		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
総 数		1,669	1,742	1,846
1	ヘーチェット病	46	44	50
2	多発性硬化症	31	30	34
3	重症筋無力症	39	39	40
4	全身性エリテマトーデス	149	153	161
5	スモン	-	-	-
6	再生不良性貧血	16	18	19
7	サルコイドーシス	51	55	54
8	筋萎縮性側索硬化症	21	19	22
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	78	83	79
10	特発性血小板減少性紫斑病	68	69	74
11	結節性動脈周囲炎	21	25	30
12	潰瘍性大腸炎	287	303	323
13	大動脈炎症候群	7	9	10
14	ビュルカー病	20	19	18
15	天疱瘡	8	8	7
16	脊髄小脳変性症	42	44	42
17	クローン病	74	81	80
18	難治性肝炎のうちの劇症肝炎	-	1	1
19	悪性関節リュウマチ	29	30	30
20	パーキンソン病関連疾患	184	194	223
21	アミロイドーシス	3	4	5
22	後縦靭帯骨化症	86	93	91
23	ハンチントン病	5	4	4
24	モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	36	37	36
25	ウエケナー肉芽腫症	2	2	3
26	特発性拡張型(うつ血型)心筋症	23	26	30
27	多系統萎縮症	19	17	18
28	表皮水疱症	-	-	-
29	膿胞性乾癬	5	5	5
30	広範脊柱管狭窄症	1	1	2
31	原発性胆汁性肝硬変	30	30	33
32	重症急性膵炎	3	4	2
33	特発性大腿骨頭壊死症	32	30	31
34	混合性結合組織病	31	31	32
35	原発性免疫不全症候群	3	2	3
36	特発性間質性肺炎	13	17	22
37	網膜色素変性症	78	81	90
38	プリオン病	2	3	3
39	肺動脈性肺高血圧症	2	4	4
40	神経繊維種症Ⅰ型Ⅱ型	13	11	12
41	亜急性硬化性全脳炎	-	-	-
42	バッドキアリ症候群	-	-	-
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	2	3
44	ライソゾーム病(ファブリー病含む)	4	4	5
45	副腎白室ジストロフィー	-	-	-

対 象 疾 患 名		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
46	家族性高コレステロール血症 (ホモ結合体)	-	-	-
47	脊髄性筋萎縮症	-	-	1
48	球脊髄性筋萎縮症	4	4	4
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10	9	11
50	肥大型心筋症	-	2	2
51	拘束型心筋症	-	-	-
52	ミトコンドリア病	6	5	5
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	1	1	1
54	重症多発滲出性紅斑(急性期)	-	1	0
55	黄色靭帯骨化症	10	9	9
56	下垂体機能障害	74	76	82
	1 PRL分泌異常症	(15)	(14)	(15)
	2 ゴナドトロピン分泌異常症	(3)	(3)	(2)
	3 ADH分泌異常症	(6)	(5)	(4)
	4 下垂体性TSH分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	5 クッシング病	(1)	(1)	(2)
	6 先端巨大症	(10)	(12)	(13)
	7 下垂体機能低下症	(39)	(41)	(46)

## (2) 特定疾患重症患者認定者数

表5-(2) 特定疾患重症患者認定者数

(単位:人)

年度 / 市町村別 疾 患 名		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
		221	217	228
総 数		221	217	228
1	ヘーチェット病	4	4	4
2	多発性硬化症	10	10	12
3	重症筋無力症	1	1	1
4	全身性エリテマトーデス	10	9	9
5	スモン	-	-	-
6	再生不良性貧血	-	-	-
7	サルコイドーシス	2	5	5
8	筋萎縮性側索硬化症	16	14	17
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	3	2	4
10	特発性血小板減少性紫斑病	-	-	-
11	結節性動脈周囲炎	3	3	3
12	潰瘍性大腸炎	-	-	-
13	大動脈炎症候群	-	-	-
14	ビュルカー病	-	-	-
15	天疱瘡	-	-	-
16	脊髄小脳変性症	23	22	21
17	クローン病	1	1	1
18	難治性肝炎のうちの劇症肝炎	-	1	1
19	悪性関節リュウマチ	11	11	11
20	パーキンソン病関連疾患	34	30	33
21	アミロイドーシス	1	1	2
22	後縦靭帯骨化症	18	16	18
23	ハンチントン病	3	2	2
24	モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	7	7	7
25	ウエケナー肉芽腫症	-	-	-
26	特発性拡張型(うつ血型)心筋症	4	4	5
27	多系統萎縮症	7	7	7
28	表皮水疱症	-	-	-
29	膿胞性乾癬	-	-	-
30	広範脊柱管狭窄症	1	1	1
31	原発性胆汁性肝硬変	1	1	1
32	重症急性膵炎	3	4	2
33	特発性大腿骨頭壊死症	-	-	-
34	混合性結合組織病	1	1	1
35	原発性免疫不全症候群	-	-	-
36	特発性間質性肺炎	2	2	2
37	網膜色素変性症	44	45	47
38	プリオン病	2	3	3
39	肺動脈性肺高血圧症	1	1	1
40	神経繊維種症 I型 II型	1	-	-
41	亜急性硬化性全脳炎	-	-	-
42	バッドキアリ症候群	-	-	-
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	1	1
44	ライソゾーム病(ファブリー病含む)	1	1	1
45	副腎白質ジストロフィー	-	-	-

対象疾患名		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
46	家族性高コレステロール血症 (ホモ結合体)	-	-	-
47	脊髄性筋萎縮症	-	-	-
48	球脊髄性筋萎縮症	1	2	2
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1	1	1
50	肥大型心筋症	-	-	-
51	拘束型心筋症	-	-	-
52	ミトコンドリア病	3	2	2
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	-	-	-
54	重症多発滲出性紅斑(急性期)	-	1	-
55	黄色靭帯骨化症	-	-	-
56	下垂体機能障害	-	-	-
	1 PRL分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	2 ゴナドトロピン分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	3 ADH分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	4 下垂体性TSH分泌異常症	(-)	(-)	(-)
	5 クッシング病	(-)	(-)	(-)
	6 先端巨大症	(-)	(-)	(-)
	7 下垂体機能低下症	(-)	(-)	(-)

(注) 平成15年10月1日から特定疾患治療研究費及び重症患者認定対象疾患として、パーキンソン病関連疾患は進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病である。また、多系統萎縮症とは線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群をいう。

### (3) 特定疾患特別介護手当支給状況

表5-1(3) 特定疾患特別介護手当支給状況

(単位:件)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
特定疾患特別介護手当支給 件数	8	8	7

### (4) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表5-1(4) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

(単位:件)

年 度	総 数
平成23年度	8
平成24年度	7
平成25年度	6

(5) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表5-(5)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専 門 医	家 庭 医	看 護 師	理 学 療 法 士	保 健 師	そ の 他
平成23年度	14	1	9	1	25	9	23	66
平成24年度	13	1	8	3	34	2	32	97
平成25年度	11	4	6	-	20	-	11	76

イ 相談内容

表5-(5)-イ 相談内容

(単位:人)

内 容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
相談者数(延)	49	225	142
申請等	0	40	-
医療	0	14	67
家庭看護	40	126	71
福祉制度	1	5	-
就業	-	3	-
就学	-	0	-
食事・栄養	-	4	-
歯科	-	0	-
その他	8	33	4

ウ 医療相談事業

表5-(5)-ウ 医療相談事業実施状況

疾患名	月日	主な内容	参加者数 (延)
網膜色素変性症	平成25年10月29日	講演会及び相談会 講師:医師 内容:「ロービジョンの実 際」	36名
全身性エリテマトーデス 強皮症・皮膚筋炎 結節性動脈周囲炎 混合性結合組織病 悪性関節リウマチ	平成25年11月14日	講演会及び相談会 講師:医師 内容:「膠原病の治療と 日常生活の注 意点」	49名
パーキンソン病関連疾患	平成25年11月29日	講演会 講師:医師 内容:「パーキンソン病 関連疾患の治 療と日常生活で 気をつけること」	31名



エ 訪問診療等事業

表5-(5)-エ 訪問診療等事業実施状況

(単位:人)

分 年度	区	指導人数		実施方法	従事者人数						
		実 人員	延 人員		専 門 医	主 治 医	看 護 師	理 学 療 法 士 等	保 健 師	そ の 他	
平成23年度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成24年度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成25年度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)訪問リハビリテーションも含む。

オ 訪問指導事業

表5-(5)-オ 訪問指導事業実施状況

(単位:件)

疾 患 名		平成23年度	平成24年度	平成25年度
総 数		134	185	82
2	多発性硬化症	11	4	1
3	重症筋無力症	-	-	1
4	全身性エリテマトーデス	7	-	-
8	筋萎縮性側索硬化症	99	40	41
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	2	-	-
10	特発性血小板減少性紫斑病	-	1	1
16	脊髄小脳変性症	28	8	7
19	悪性関節リュウマチ	1	-	-
20	パーキンソン病関連疾患	17	15	11
22	後縦靭帯骨化症	1	-	1
23	ハンチントン病	2	-	-
24	モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	-	-	-
27	多系統萎縮症	11	6	2
36	特発性間質性肺炎	-	-	2
37	網膜色素変性症	3	3	4
48	球脊髄性筋萎縮症	2	-	-
52	ミトコンドリア症	1	1	-

カ 訪問相談事業

ア) 訪問相談員派遣状況

表5-(5)-カ- ア) 訪問相談員派遣状況

年度 \ 区分	人 数	回 数	実人員	延人員
平成 23 年度	8	47	18	47
平成 24 年度	9	60	13	60
平成 25 年度	9	54	14	54

イ) 訪問相談員育成事業

表5-(5)-カ- イ) 訪問相談員育成実施状況

年度 \ 区分	月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成 23 年度	4 月 4 日	事例検討会	保健師、看護師 介護経験者	5 人
平成 24 年度	4 月 3 日	事例検討会	保健師、看護師 栄養士、介護経験者、 その他(患者会)	7 人
平成 25 年度	4 月 11 日	事例検討会	保健師、看護師 管理栄養士、臨床心理 士、介護経験者、 その他(患者会代表)	7 人

## 6 原爆被爆者対策事業

### (1) 被爆者手帳交付状況

表6- (1) 被爆者手帳交付状況

(単位:件)

区分 年度	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成23年度	175	-	3	-	5	173
平成24年度	173	-	1	2	4	168
平成25年度	168	-	4	1	2	169

(注)被爆者健康診断受診者証交付数は( )を設けて再掲する。

### (2) 被爆者健康診断実施状況

表6- (2) 被爆者健康診断実施状況

(単位:人)

年度	施設	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数	
平成23年度	保健所	前期	183	17	9.3	14
		後期	169	16	9.5	14
	委託医療機関		38		16	
平成24年度	保健所	前期	171	19	11.1	12
		後期	169	15	8.9	9
	委託医療機関		22		12	
平成25年度	保健所	前期	168	14	8.3	11
		後期	170	12	7.1	6
	委託医療機関		28		16	

(3) 特別措置法に基づく各種手当での支給状況

表6-(3) 特別措置法に基づく各種手当での支給状況

(単位:件)

区 分 \ 年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総 数	150	147	152
医 療 特 別 手 当	5	5	5
特 別 手 当	1	1	1
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健 康 管 理 手 当	133	130	133
保 健 手 当	11	11	11
介 護 手 当	-	-	-
葬 祭 料	6	3	2
健 康 手 当	139	134	135

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。

7 肝炎治療特別促進事業

(1) 肝炎治療医療費助成状況

表7-(1) 肝炎治療医療費助成状況

(単位:件)

区 分 \ 年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
肝炎治療医療費助成	57	56	58

※ 新規認定のみ